

「日本全国！地域仕掛け人市2019」

開催レポート

2019.06.30 (Sun) 13:00-19:00

はじめに

「日本全国！地域仕掛け人市」は、全国の面白い地域・企業・団体を都市部人材に向けて発信し、「地域には自らのスキルを活かして挑戦できるワクワクする場がたくさんある」ことを伝えることをコンセプトに開催しています。

そして本イベントが契機となり、参加者が、地域で開催されるプログラムへ参加する、地域企業へ転職・副業・インターンする、地域で起業する、といった事象に繋がり、ひいては日本全国を巻き込んだ人材流動を生み出すことを目的としています。



イベントの特徴

本イベントは、過去これまで140団体、約3000人の出会いを創出、多くの移住・起業・転職の事例を生み出してきました。参加者は、例年400名程度（2019年は398名）来場し、20代～30代が約8割を占めており、3年以内の地域への移住定住を検討する方が約3割、それ以外が中長期的に関わりを持つ地域を探している方で構成されています。

また、参加者からは入場料を徴収しており、地域へ関わる意欲がある程度高い層のみをターゲットとしています。そのため、参加者が受け身ではなく、積極的に「どのような関わり方が可能か」を話しあう場として、当日は非常に熱量の高い場が形成されています。

私たちは、都市部の人材が地域へ突然移住することは考えにくく、人材と地域との関係性を築くためのステップを設計することが非常に重要であると考えています。そのため、本イベントでは移住・転職のみを参加者へ訴求するのではなく、段階を踏んだ地域との関わり方を事前に設計し、それらの機会をPRすることを強く推奨しています。（一般的な移住までのステップを以下に提示）

ステップ1：地域の方との連絡先交換

ステップ2：東京等で開催の地域イベントへの参加

ステップ3：地域体験プログラム並びに地域で開催するイベントへの参加

ステップ4：地域への一か月程度のおためし移住（短期インターン）への参加

ステップ5：地域企業での副業・兼業・プロボノ・社会人インターン等の実施

ステップ6：転職・起業→移住！

「日本全国！地域仕掛け人市2019」

日時 : 2019年6月30日（日） 13:00～19:00

場所 : EBiS303(東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビススバルビル)

来場者 : 398名

出展団体 : 30団体 + 個人出展2名

実行委員団体(50音順)

- ・ NPO法人ETIC.
- ・ NPO法人学生人材バンク
- ・ 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン
- ・ いなかパイプ
- ・ 株式会社熊野古道おわせ
- ・ 株式会社ツナグム（京都移住計画）
- ・ 株式会社日添
- ・ 株式会社御祓川

当日タイムライン

| | |
|-------------|-----------------|
| 12:30 | 開場・受付 |
| 13:00-13:25 | オープニング |
| 13:25-19:00 | ブース交流(終日) |
| 13:25-14:00 | 実行委員によるトークセッション |
| 14:30-15:15 | 座談会ターム① |
| 15:30-16:15 | 座談会ターム② |
| 16:30-17:15 | 座談会ターム③ |
| 19:00 | イベント終了 |

出展団体

1. 厚真町／株式会社エーゼロ厚真(北海道・厚真町)
2. NPO法人プラットフォームあおもり(青森県)
3. うご未来の学校(秋田県・羽後町)
4. 一般社団法人ワカツク(宮城県)
5. 能登の人事部／能登半島七尾移住計画(石川県・能登半島)
6. すず里山里海移住フロント(石川県・珠洲市)
7. 錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会(鹿児島県)
8. 「四国の右下」若者創生協議会(徳島県・県南地域(阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町))
9. 釜石ローカルベンチャーコミュニティ(岩手県・釜石市)
10. 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン(宮城県)
11. 新発田市地域おこし協力隊(新潟県・新発田市)
12. NPO法人Murark (ムラーク) (佐賀県・佐賀市・三瀬村)
13. サバイブ椎葉／椎葉村地域おこし協力隊(宮崎県・椎葉村)
14. 熊本県五木村／株式会社日添(熊本県・五木村)
15. 一般社団法人 海士町観光協会(島根県)
16. 鳥取県 (とっとり暮らし支援課) (鳥取県)
17. 鳥取面白求人/学生人材バンク(鳥取県)
18. 株式会社温泉道場(埼玉県)
19. NPO法人ETIC.(東京都・渋谷区)
20. 京都移住計画 (株式会社ツナグム) (京都府)
21. MINATO～ひととチャレンジが巡るまち(宮城県・気仙沼市)
22. Next Commons Lab南三陸・南三陸町移住支援センター(宮城県・南三陸町)
23. 石巻／コンソーシアムハグクミ(宮城県・石巻市)
24. 未来を豊かに！株式会社ワンテーブル(東京都/宮城県)
25. 茨城県北クリエイティブプロジェクト(茨城県)
26. 尾鷲市 & 南伊勢町(三重県)
27. ふるさと兼業／NPO法人G-net(全国/岐阜県)
28. 地域情報プラットフォーム「まいふれ」(全国)
29. YOSOMON! (全国)
30. 株式会社SMO南小国(熊本県)

個人出展

1. 矢島 衛 (NPO法人SPIN A TALE)
2. 佐々倉 玲於 (一般社団法人いなかパイプ)

2019年の特徴

2019年の新しいコンテンツとして、地域への興味はあるが自ら動き出す決断がなかなかできない方に対して、それならば強引にきっかけを作ってみてはどうか？という趣旨のもと、「ダーツで偶然当たった地域への訪問を促す」という仕掛け、「日本全国！仕掛け人ダーツの旅」を設置しました。自分が元々行きたいと考えていた地域が当たり喜ぶ参加者や、今まで全く訪問を考えてもいなかった地域が当たり、戸惑いつつもブースで仕掛け人と話をした結果、現地への訪問が決まった参加者など、様々な出会いを生み出しました。

加えて今年度新たに、団体ではなく個人での出展も受け付けました。個人出展はブースを構えずに会場内を自由に動き回って参加者と交流することを可能にし、参加者へ積極的に話しかけることで、会場内の賑わいを生み出していました。



「日本全国！仕掛け人ダーツの旅」の様子



個人出展者（佐々倉玲於氏）

また、参加者と仕掛け人、および参加者同士の対話の機会として、一つのテーマを話し合う座談会を設定しました。3つのエリアに分かれ、下記3つのタームにて計9つの座談会を実施いたしました。当日は、「地域のリアルな話が聞けた」「参加者と仕掛け人が近い距離で話せた」という参加者の声が数多く聞かれました。

座談会トークテーマ

ターム1：A=ふるさと兼業コーディネーターが語る、地域×複業の面白さ

ターム1：B=地域で”活躍する”ために、必要なことを一緒に考えましょう！

ターム1：C=「地域の課題」をみなさんの「じぶんごと」にしてもらうために、
地域の私達はなにをすればいい？

ターム2：A=あなたの好きなことを半島で！不便以上の魅力がここにある！

ターム2：B=人を切り口とした地域の生存戦略について

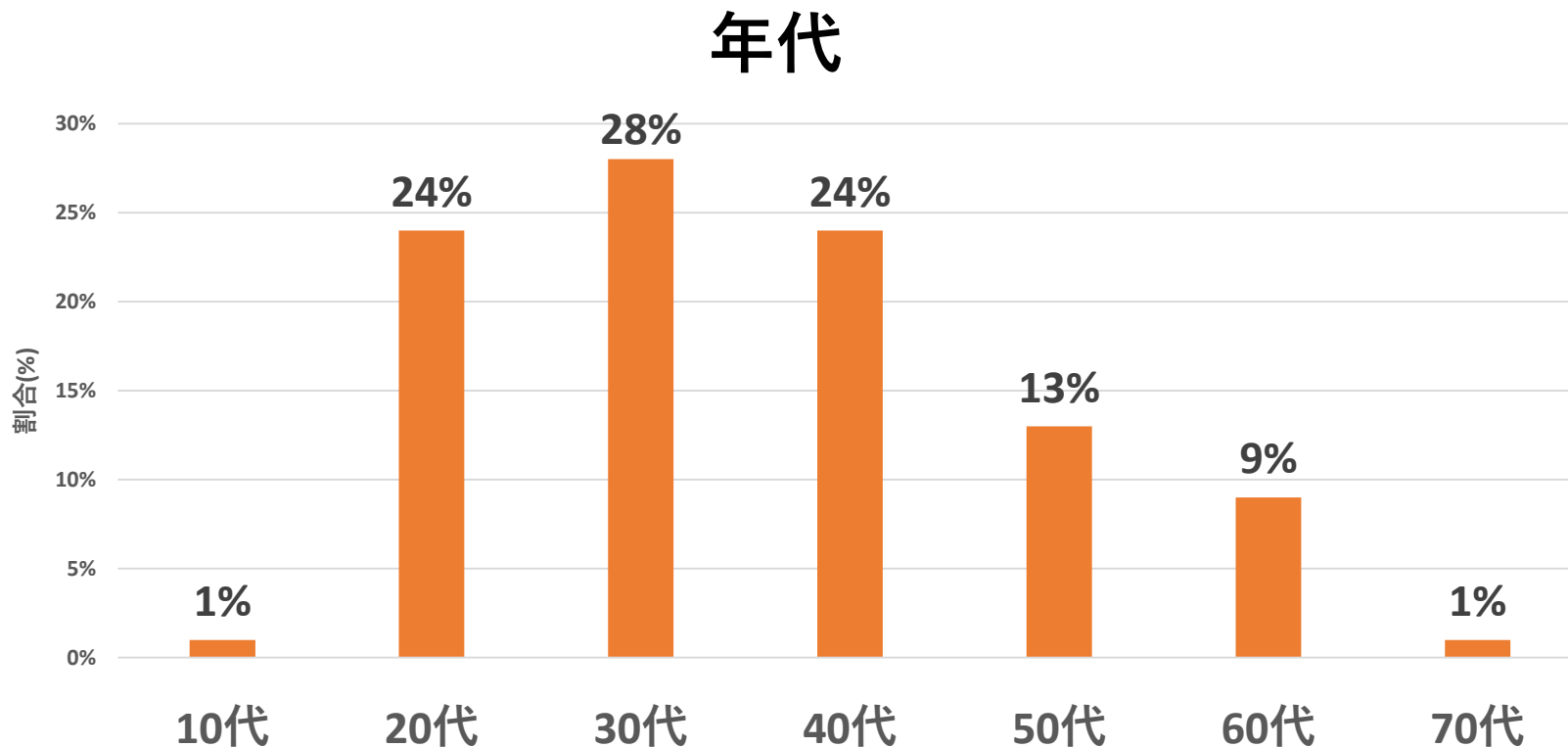
ターム2：C=ガンガンいこうぜ！3.11からのまちづくり～三陸情熱界限～

ターム3：A=やりたいことがある人 VS ない人！生き残っていけるのはどっち!?
～「いなか」で生きるための生き方・働き方とは？～

ターム3：B=『複業で関わる地域の歩き方』

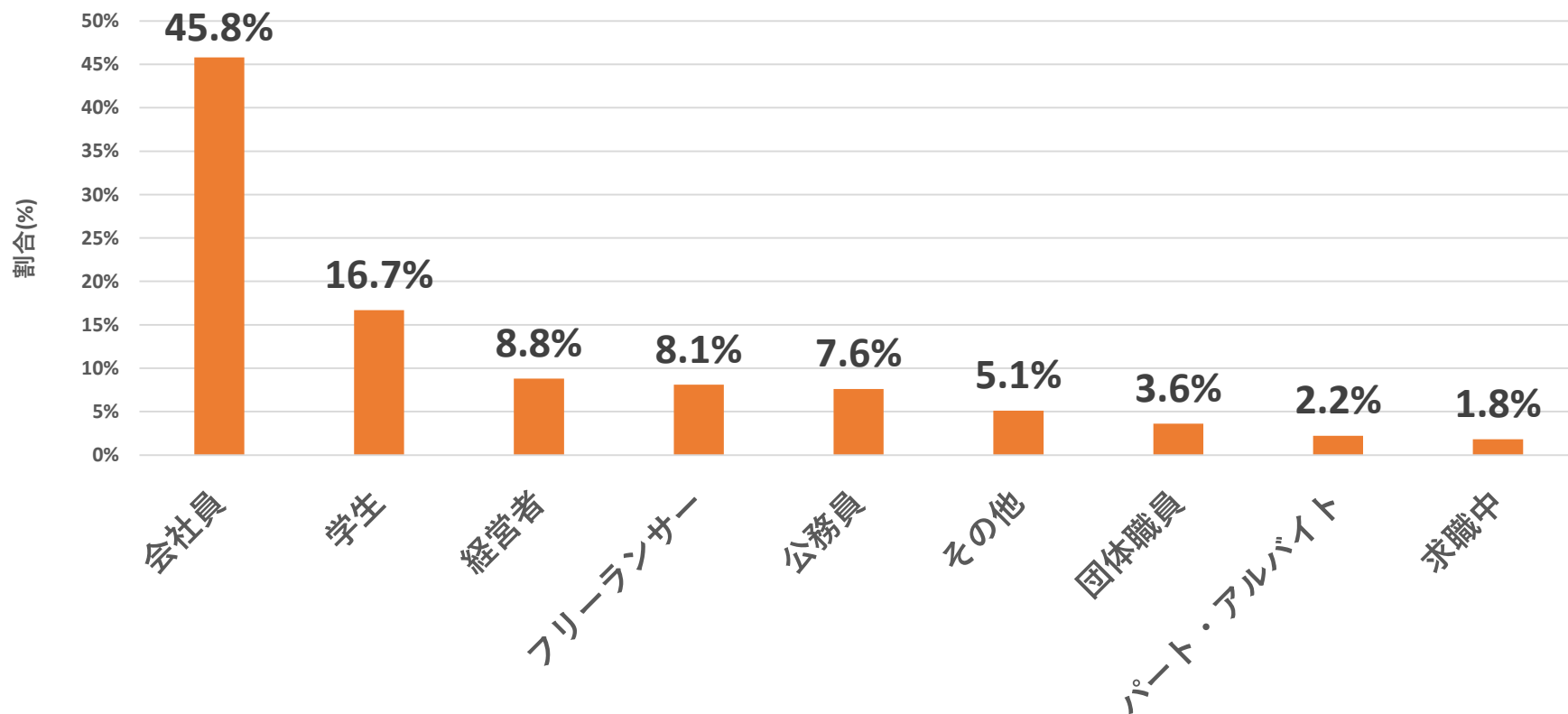
ターム3：C=「地域×働き方」をオモシロく。私たちが仕掛け人になった理由

来場者データ



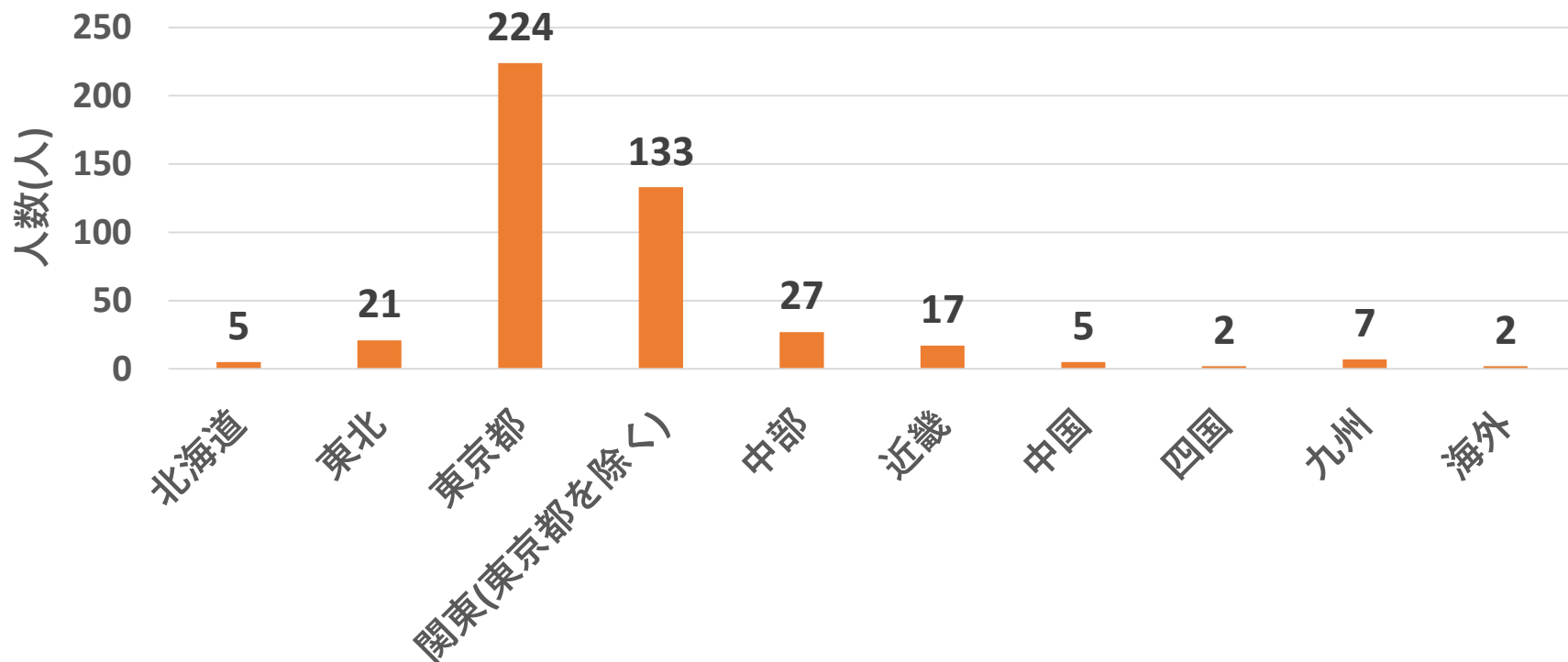
→20～30代が、全体の50%を占めている。
昨年度と比較し、30代の来場者数が少なかった

所属



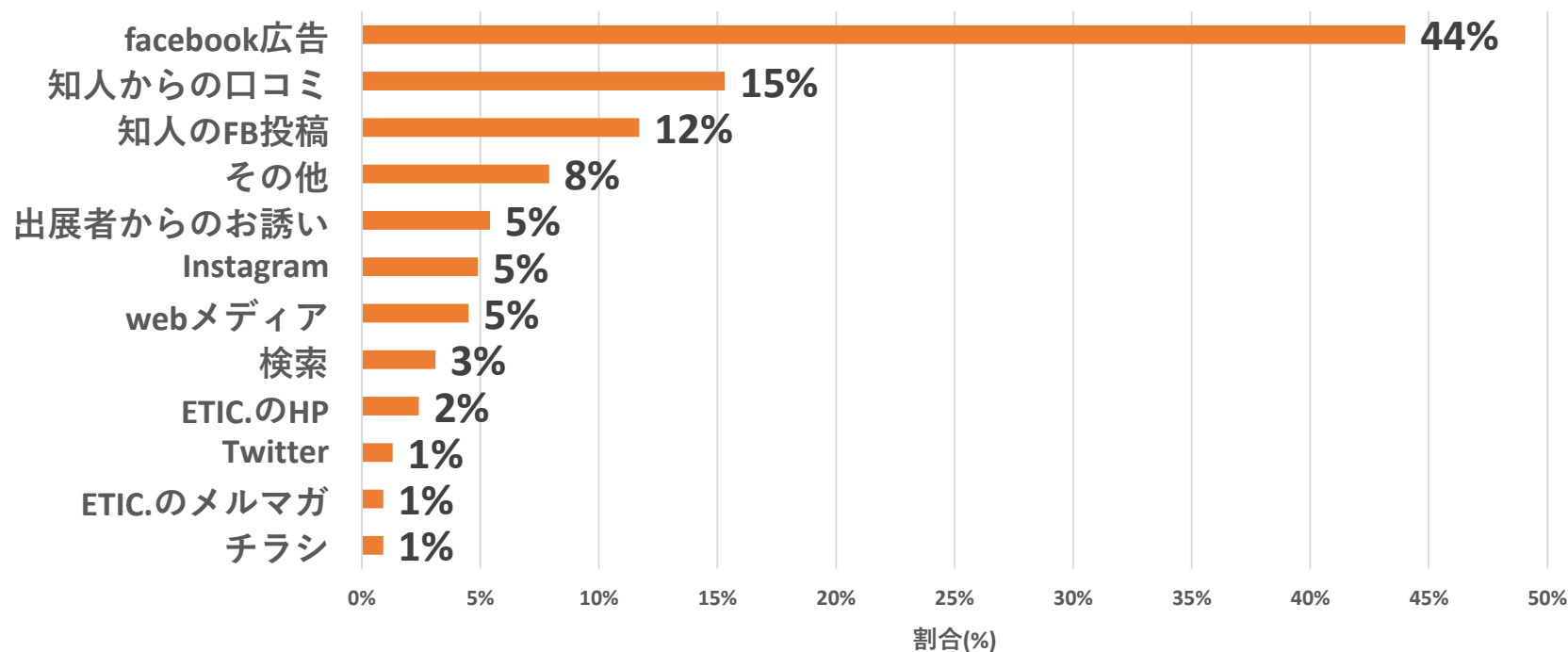
→会社員が最も多く、全体の約半数を占める。
次いで学生が多く、2割程度を占める。

居住地



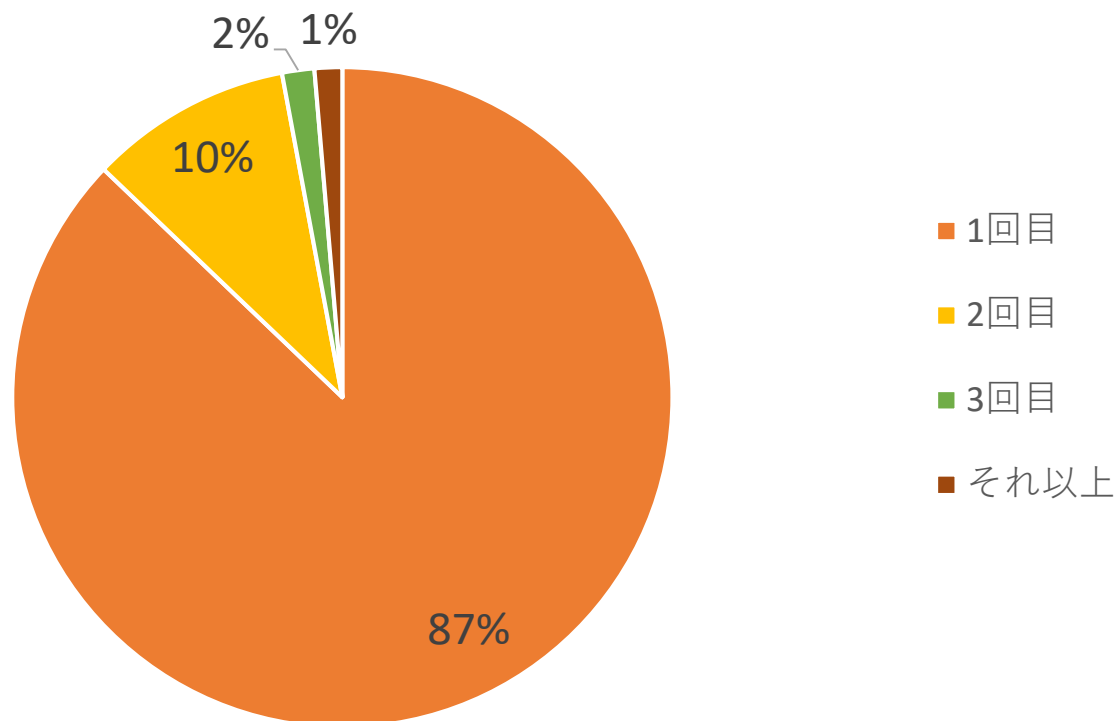
→東京都を居住地とする方が全体の50%以上を占め、さらに関東地域のみで80%以上を占めているが、北は北海道、南は九州まで全国各地から参加されている。また海外からも参加がみられた。(ニューヨーク、マレーシア)

イベントの認知経路



→Facebook広告で本イベントを認知した方の割合が約50%と例年通りであった。

仕掛け人市への参加回数

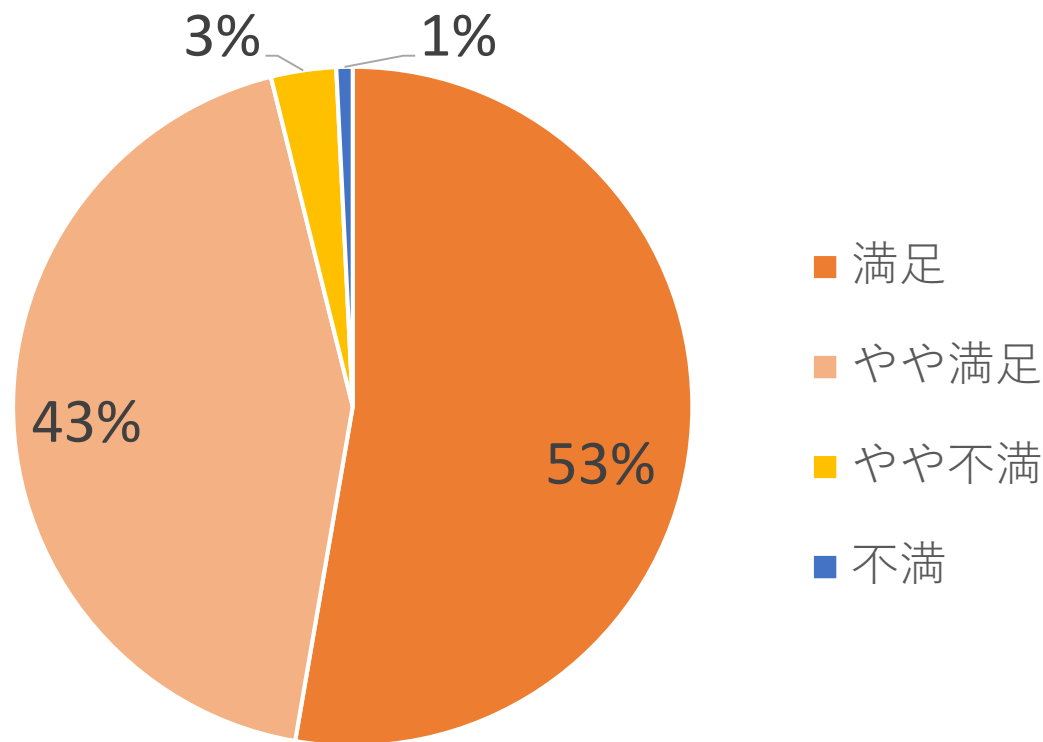


→ 1回目の参加の方が全体の約85%を占めていることから、リピーターではなく、新たに仕掛け人市に参加された方が多いことがわかる。

参加者アンケート

(回答数：139名、回答率：34.9%)

Q1：今回のイベントの満足度はいかがですか？ (回答数：129件)



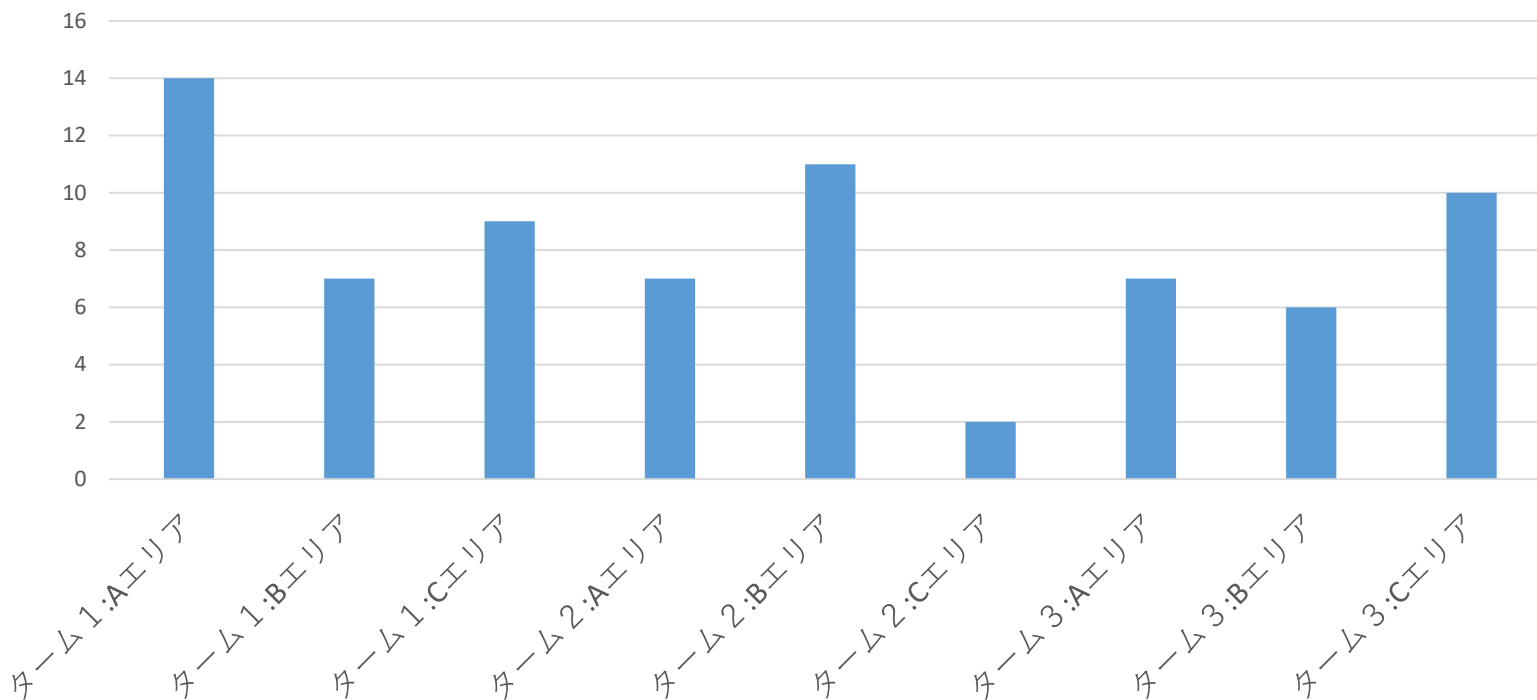
→「満足、やや満足」合わせて全体の96%を占めていたことから、全体的に満足度の高い方が多かったことが、読み取れる。

Q2：本イベントに期待していたことは何ですか？ また、それは達成されましたか？（抜粋／回答数：108件）



- 地域での活動でどんな面白いことをされているのかを知りたかった。色々なお話を聞いた。
- 各地で何かやりたいと考えている人との出会いを期待して来ましたが、イメージしてたよりも多くの人と出会えてみなさんイキイキしてた。会場内の雰囲気もよかったです。
- 自分がやりたい仕事(まちづくり、エリアマネジメント等)と各団体の活動内容とすり合わせ、相談等。今後のネットワークづくりができたのでほぼ達成に近いかなと思います。
- 移住先の候補を見つける→達成
- 今後の自分のキャリアについて考えたかった。仕掛け人の方とお話ししてアイデアを頂けた。
- 様々な地域で活躍している方との交流、将来設計のヒントを得る→大いに参考になった

Q3：どの座談会に参加されましたか？ (回答数：73件)



→参加者が一番多かったのは、チーム1：Aエリア「ふるさと兼業コーディネーターが語る、地域×複業の面白さ」、次いで多かったのはチーム2：Bエリア「人を切り口とした地域の生存戦略について」であった。

Q4：座談会の感想を自由に記載してください。 (参加された方のみ)(抜粋、回答数：46件)



- 地方起業するにあたって注意しなければならないことや複業の様々なあり方を知ることができた。
- 「複業」はお金だけの価値じゃない」と言う言葉で少し肩の荷がおりた(難しく考えていた)
- 座談会に参加している人同士でも直接話せる形式でよかったです。
- 実際に地域に関わる人と実体験に関するお話を聞くことができ、勉強になった。
- 地域の実情がどのように関わってきたのかといったお話は中々聞けないので貴重だった。
- 各地域の仕事・活動の特徴、魅力をおおまかに知る事ができたので、満足です。
- 自分の活動に自信を持って取り組む人はやはり素敵だと思った。
- 少人数の座談会であったため、参加者と仕掛け人の方との距離感が近く、両方の考えが聞けたことは面白かったです。

Q5：今回のイベントに参加して得たこと、 学んだことをお聞かせください(抜粋/回答数77件)



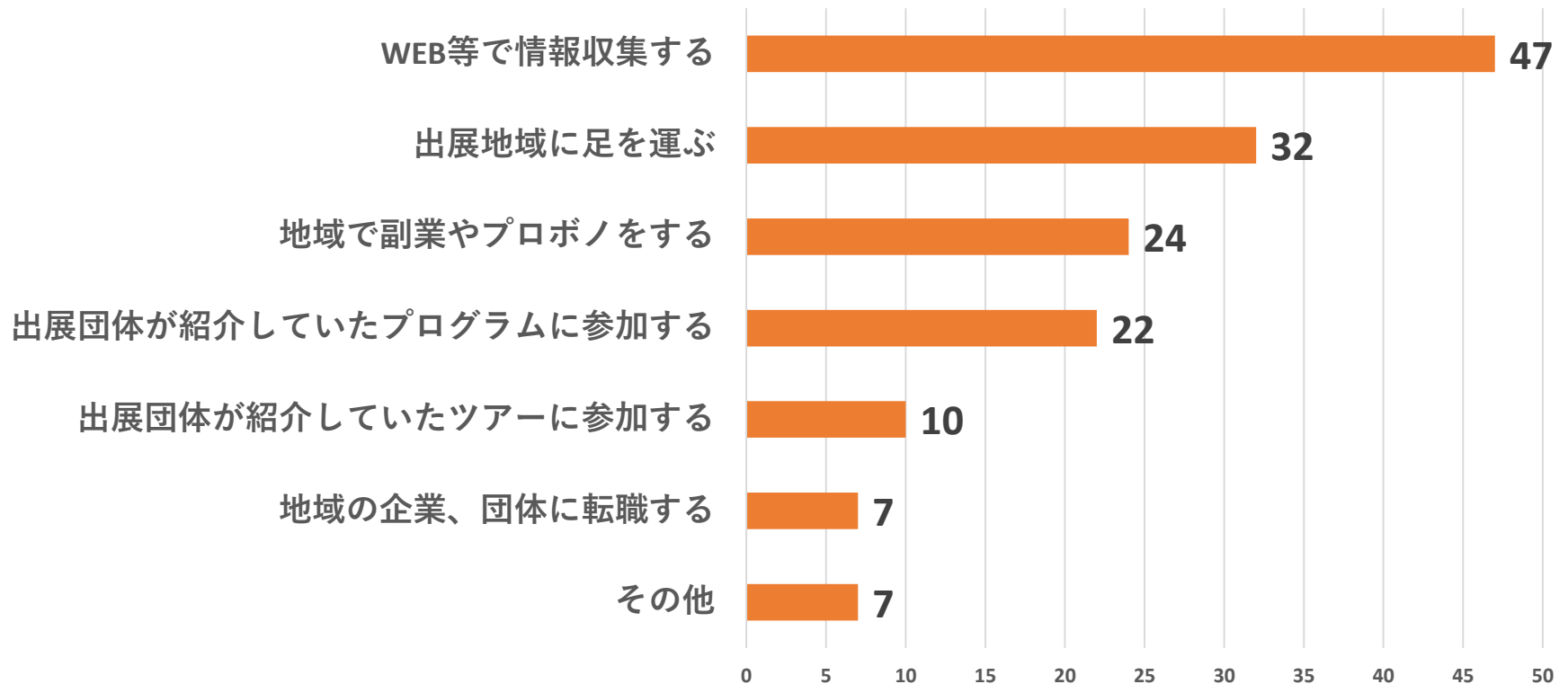
- 沢山あります。プログラム紹介して頂いたもの全てやりたい。高知行きたくて、ダーツしたら当たりました(笑)
- 南小国の起業型地域おこし協力隊、起業塾が参考になった。気仙沼の取組みが盛んですごかった。
- 宮城が熱い。熱と数がありよかった。
- 印象的な言葉：自分と仲間と地域で生きていきたい/田舎は余白が多いから自分でやりたいように道をひねれる。
- 地方に住んで都市で働くやり方なども提案して頂き、考えが広がった。
- 県ごとのブースで新たなことがたくさん知れて大満足でした。皆さん温かくて、活力のある方ばかりで将来に希望が持て、元気になった。

Q5：今回のイベントに参加して得たこと、 学んだことをお聞かせください(抜粋/回答数77件)



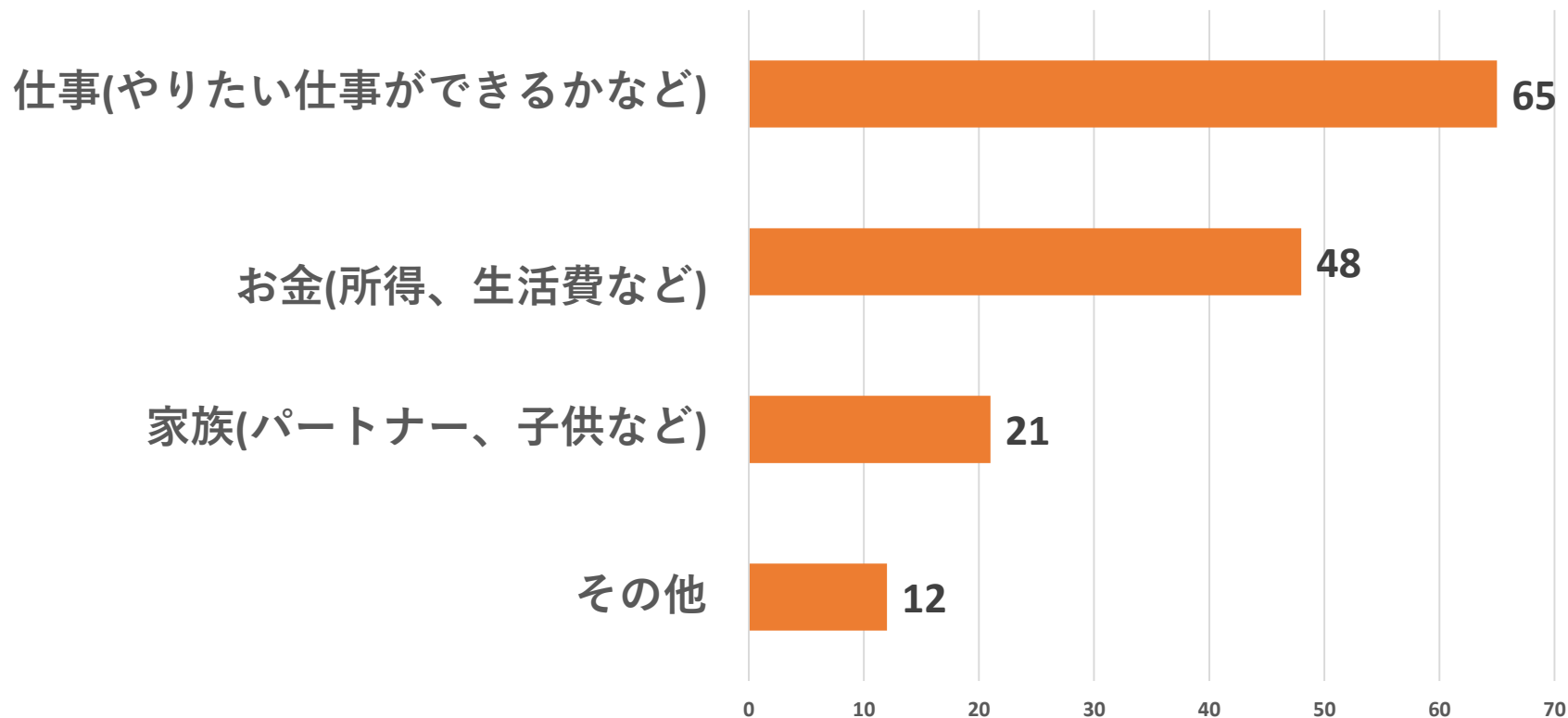
- ダーツで気になっていた地域が当たったこと
- 普通の移住イベントとは違った形の相談会であったので、とてもためになり、沢山の働き方や関わり方があるんだと思った。
- 漠然としていた地域に関する仕事がしたい気持ちが、今何ができるかという具体的な観点を持てた。
- 個人出展の二方とはとてもいい話ができた。各ブースの担当者とも情報を得られた事、個別相談ブースにて具体的な相談事ができて非常によかった
- 自分の好きな事を見つける事が先ずは大切だ、という事を聞いて、この言葉が心に残った
- 漠然としていた、「地域に関する仕事がしたい」が、少し、今何ができるかという具体的な観点を持てた

Q7：本イベントを踏まえて、次はどんなステップをお考えですか？（複数選択あり、回答数：151件）



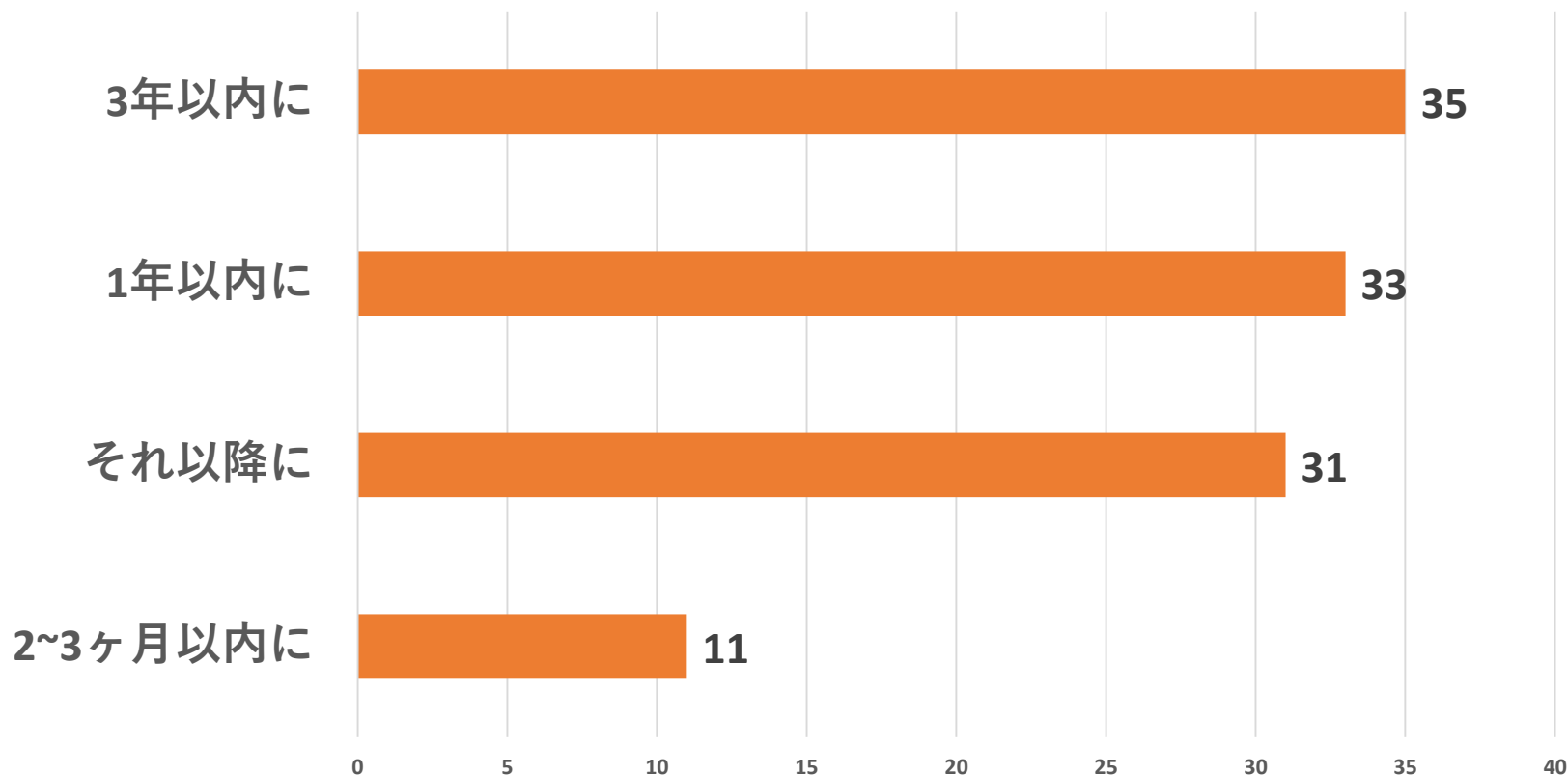
→WEBでの情報収集、出展地域を訪れることを次のステップとして考えている方が最も多いという結果になった。

Q8：あなたが地域に飛び込む上でハードルとなっているものは何ですか？(複数選択あり、回答数：151件)



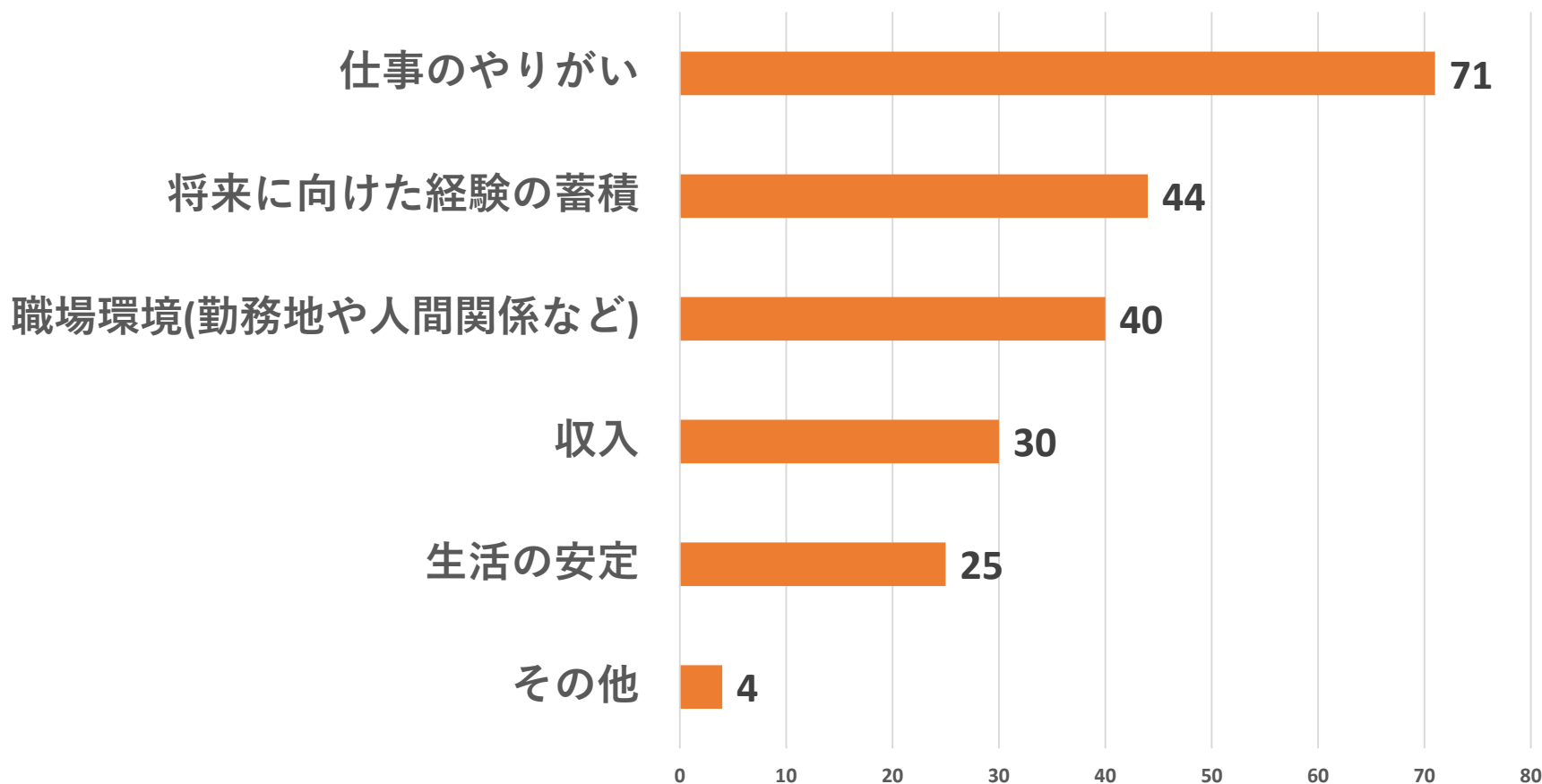
→仕事(やりたいしごとができるかなど)、お金(所得、生活費など)が主なハードルになっている。

Q9：いつから地域で働きたいと考えていますか？ (回答数：110件)



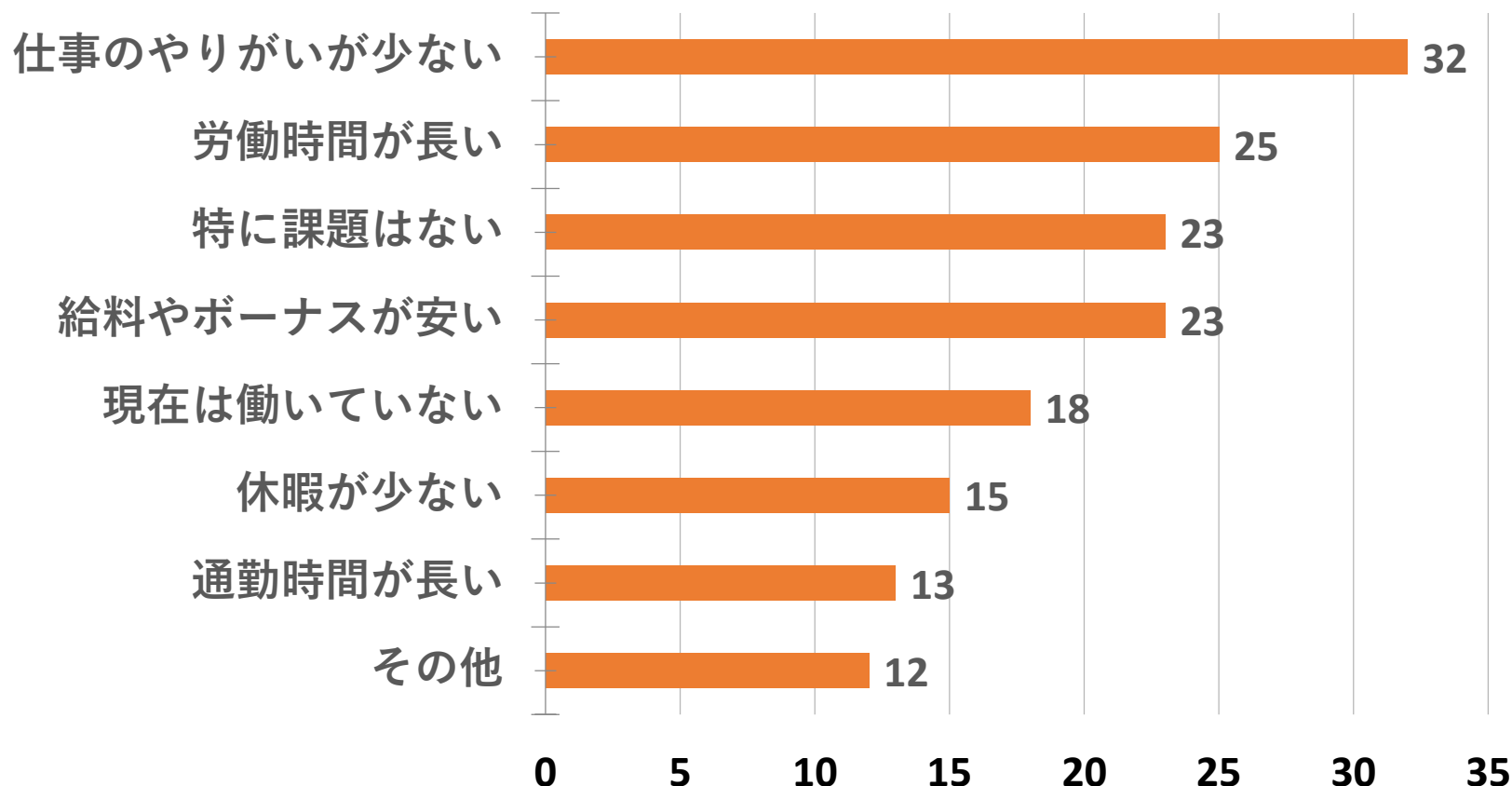
→3年以内が最も多いが、1年以内に、それ以降に、と回答した人数とそれほど大きな差はなかった。

Q10：現在の職業を選択する上で優先していることはなんですか？(複数選択あり、回答数：217件)



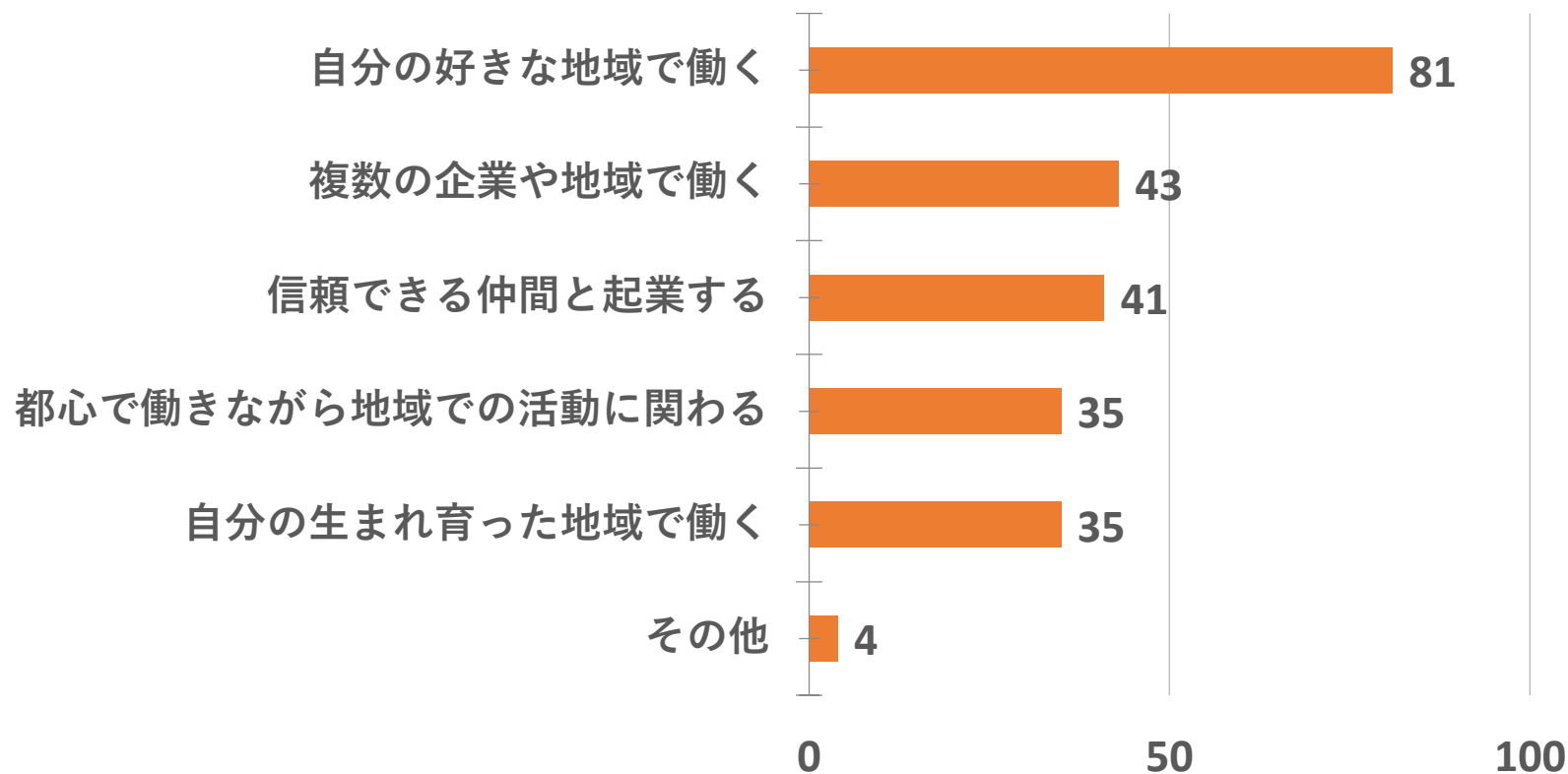
→「仕事のやりがい」を優先して現在の職業を選択している方が最も多く、生活の安定に対する優先順位は低いことが分かった。

Q11：現在の働き方についての課題を教えてください (複数選択あり、回答数：161件)



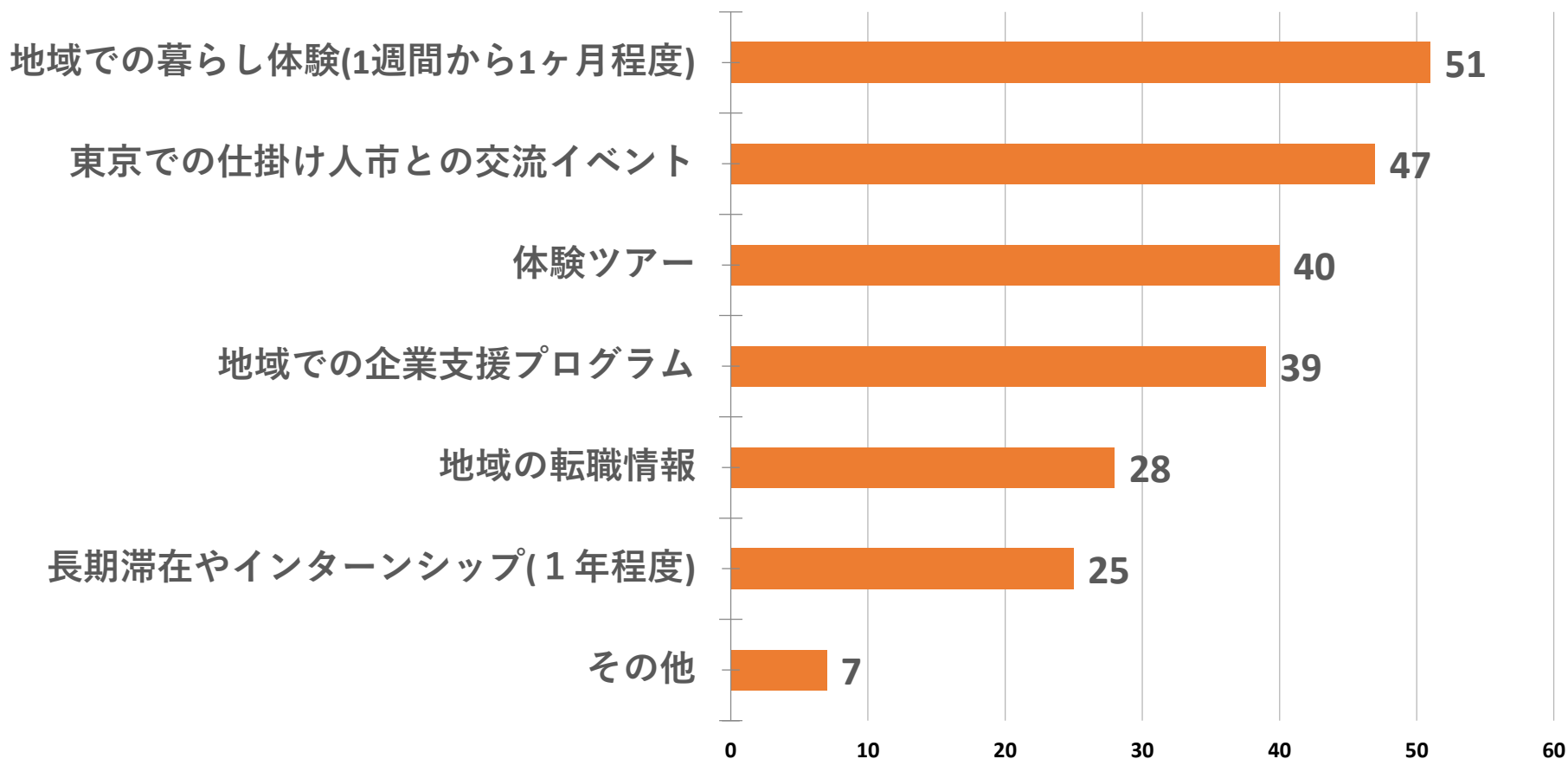
→現在感じている働き方の課題として最も多く選ばれたのは、「仕事のやりがいがない」という項目であった。

Q12：これから挑戦したい働き方について教えてください。 (複数選択あり、回答数：239件)



→最も多かったのは「自分の好きな地域で働く」という項目であった。地元で働くこだわりを持たず、自分が興味関心のある地域で働くことを希望する方が多いという結果になった。

Q13：今後、地域と関わるうえでどんな情報やプログラムがあるとよいですか？(複数選択あり、回答数：247件)



→地域での暮らし体験(1週間から1か月程度)/東京での仕掛け人市との交流イベントが均衡する形で最も多い。



地域仕掛け人市2019出展者一同

問い合わせ先

NPO法人ETIC. (エティック)

日本全国！地域仕掛け人市事務局

shikakenin@etic.or.jp